

第5次愛知県環境基本計画を推進する連携・協働による取組事例

1 地球温暖化対策

○ 「あいち COOL CHOICE」県民運動

地球温暖化対策についての意識を高め、脱炭素型のライフスタイルへの転換を促すため、地球温暖化対策に資する「賢い選択（＝COOL CHOICE）」を呼びかける「あいちCOOL CHOICE」県民運動を推進している。

「夏休み！おうちでエコアップ大作戦」や小学生等に向けた「ストップ温暖化教室」などの様々な取組を実施している。

【2023年度実績】夏休み！おうちでエコアップ大作戦 5,049家族

ストップ温暖化教室 10,026名

【連携先】（一社）環境創造研究センター（愛知県地球温暖化防止活動推進センター）

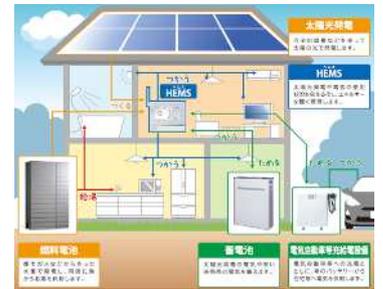


○ 住宅用地球温暖化対策設備の普及促進

環境に配慮した住宅（スマートハウス・ZEH（ゼッチ））の普及を図るため、補助制度を有する市町村と協調して、太陽光発電、家庭用エネルギー管理システム（HEMS（ヘムス））、燃料電池等の導入費用の一部を補助している。

【2023年度実績】7,442件 152,460千円

【協調先】51市町村



○ 中部圏低炭素水素サプライチェーン構築促進会議の取組

本県が全国に先駆けて制定した、再生可能エネルギーから製造された水素を「低炭素水素」として認証・情報発信する「低炭素水素認証制度」について、2023年度から対象範囲を中部圏（愛知県、岐阜県及び三重県）へと拡大した。企業や市町村等と連携の上、中部圏における広域的な低炭素水素サプライチェーン構築を促進している。

【2023年度】2プロジェクトを認定。6プロジェクトに係る

2022年度の低炭素水素製造実績を認証

【2024年度（7月末現在）】1プロジェクトを認定

【構築促進会議構成員】環境パートナーシップ・CLUB

脱炭素分科会等



明治電機工業豊田支店 再エネ由来水素利活用プロジェクト（2024年度認定）

○ あいち脱炭素経営支援プラットフォーム

2023年度に環境省の「地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」の採択を受け、普段から地域の中小企業等と接点を持っている経済団体や金融機関等と行政が一体となって、中小企業等の脱炭素経営を支援することを目的として、2023年11月に「あいち脱炭素経営支援プラットフォーム（事務局：愛知県）」を設立した。

本プラットフォームを核として、参画機関が連携・協働しながら、伴走型省エネ診断等を通じて地域ぐるみで中小企業等の脱炭素経営に向けた支援をしている。

【2023年度実績】伴走型省エネ診断 24社

炭素会計アドバイザー資格取得支援者 100名

ワンストップ相談窓口の設置

【プラットフォーム構成機関】環境省中部地方環境事務所、35市町、愛知県商工会議所連合会、愛知県商工会連合会、名古屋商工会議所等



省エネ診断の様子

2 自然との共生

○ 生態系ネットワーク協議会との連携

開発などで分断・孤立した生物の生息生育空間を緑地でつないで豊かな生物多様性をもった地域を作り上げる「生態系ネットワークの形成」を進めるため、県内9地域において、大学や事業者、NPO、行政等で構成される生態系ネットワーク協議会を設立し、多様な主体の協働による取組を実施している。

【県内協議会名】 知多半島、東部丘陵、西三河、尾張北部、新城設楽、東三河、渥美半島、西三河南部、尾張西部

【協議会構成員】 各地域内の市町村、大学、企業、NPO等 301団体（2024年3月）

NPO法人愛知環境カウンセラー協会：知多半島、東部丘陵、尾張西部
ビオトープ・ネットワーク中部：西三河、尾張西部



3 資源循環

○ サーキュラーエコノミー推進プロジェクトチームの取組

2022年3月に策定した「あいちサーキュラーエコノミー推進プラン」に基づき、サーキュラーエコノミー（循環経済）への転換とプラスチックや太陽光パネル等の社会的課題を同時に解決するため、7つのサーキュラーエコノミー推進プロジェクトチームを設立し、事業化を目指した取組を実施している。



プロジェクトチーム合同会議の様子

【2023年度実績】 プロジェクトチームへの参画事業者数：66事業者（延べ88事業者）

○ 愛知環境賞

サーキュラーエコノミーやカーボンニュートラルに関する取組など、資源循環や環境負荷低減に向けた企業、団体による<技術・事業><活動・教育>の取組を募集し、優れた事例に対する表彰事業を実施している。

【2023年度実績】 応募49件に対して15件を表彰

【共催】 環境パートナーシップ・CLUB、中日新聞社



ロゴマーク

○ ごみゼロ社会推進あいち県民会議

啓発イベントや研修会等の実施とともに、ごみ減量化対策、ごみ再資源化対策、不法投棄対策の三つの部会を開催し、県民・事業者・行政が一体となってごみゼロ社会の形成を推進している。

【2023年度実績】

- ・ごみゼロ社会推進あいち県民大会の開催 参加人数：延べ400人
- ・レジ袋削減取組優良店の認定・表彰 受賞者：計3店舗

【会議会員】

愛知県市長会、愛知県町村会、愛知県商工会議所連合会、愛知県商工会連合会、愛知消費者協会、愛知県生活協同組合連合会、愛知県女性団体連盟

4 安全・安心の確保

○ 三河湾環境再生プロジェクト

三河湾環境再生パートナーシップ・クラブと連携・協働し、「三河湾環境再生プロジェクトーよみがえれ！生きものの里“三河湾”ー」に基づく、三河湾大感謝祭、三河湾環境学習会等の各種取組を実施している。

【2023年度実績】

- ・三河湾大感謝祭 10月14日 約3,000名
- ・三河湾環境学習会 7月29日 40名 等

【三河湾環境再生パートナーシップ・クラブ会員】

- ・行政、企業・団体・教育機関、NPOなど44団体

2023年度三河湾大感謝祭



5 行動する人づくり

○ 環境学習コーディネート事業

愛知県環境調査センター内の「あいち環境学習プラザ」において、環境学習を受けたい方と、環境学習を提供できる方の橋渡しを担う「環境学習コーディネーター」を配置している。

環境学習の内容や実施方法、講師、教材、活動場所等についての相談や講義日程の調整などを行っている。

【2023年度実績】 コーディネート7件、相談8件

【協力団体】 (一社) 環境創造研究センター



環境学習の様子（安城市立安城西部小学校）

○ SDGs推進フェア「SDGs AICHI EXPO」の開催

SDGsに取り組む企業・大学・NPO等、各主体のコミュニケーション・ネットワーク化の促進やSDGsの県内全域への普及・浸透を目的に、ブース出展や各種ステージイベント等を実施している。

【2023年度実績】

期 間：10月5日(木)～7日(土)

場 所：Aichi Sky Expo（愛知県国際展示場）

参加者：16,967人（会場参加 14,058人、オンライン2,909人）

【SDGs AICHI EXPO実行委員会】

(一社) 中部SDGs推進センター、環境パートナーシップ・CLUB、愛知学長懇話会SDGs企画委員会、NPO法人愛知環境カウンセラー協会、環境省中部地方環境事務所



イベントの様子

○ 「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」の成果発表会の共同開催

大学生を対象とした人づくりプログラム「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」について、研究員である大学生の最終プレゼンテーションの場である成果発表会を愛知学長懇話会SDGsリレーシンポジウムに位置付け、集客、広報を協力して行っている。

【2023年度実績】12月10日(日)開催 参加者：156名

【協力団体】愛知学長懇話会SDGs企画委員会



発表会の様子

○ あいちエコアクション・ポイント事業

県民を対象に脱炭素・循環型ライフスタイルへの転換や行動変容を促すため、飲食店での食べ残しゼロなどの環境配慮行動（エコアクション）に対して愛知県独自のポイント（あいちエコアクション・ポイント）を付与する。

【2023年度実績】参加者 約8,600名

参加店舗等 約4,700店舗

